



参加された皆さんからの感想

- ・「もっともっと長く北翔大学にいたかった」
- ・「もっと期間を長くして欲しい」
- ・「学生ボランティアの皆さんの活躍があればこそ実現できていると思います。来年も是非、実施して欲しいと願っています」
- ・「朝・昼・夜とおいしいご馳走をいただき、体重も増えました」

私達は忘れない 3.11

第2回リフレッシュプログラムがH24.8.13(月)～21日(火)までの9日間25名の参加により実施されました。



雨が降って来たぞー



滝野すずらん公園

今回は学生が中心になってお世話にあたってくれました。ボランティアに参加してくれた学生達は温かくて真面目で、お役に立てるなら、の謙虚さと、どの言葉をもってしても言い表せないほどの心意気を見せてくれました。特に9日間寝泊りを一緒にして

すごいぞ学生達

今回は学生が中心になってお世話にあたってくれました。

ボランティアに参加してくれた

学生達は温かくて真面目で、お役に

立てるなら、の謙虚さと、どの

言葉をもってしても言い表せない

ほどの心意気を見せてくれました。

特に9日間寝泊りを一緒にして

2回目となる夏休みリフレッシュプログラム。8月11日～21日の9日間実施する事が出来ました。皆様から寄せられた志のおかげで子ども達との約束を果たすことができました。

参加者は馴染みの顔がいっぱい。少し大人びた子ども17名と大人7名が「今年も来たよ」と元気な姿を見せてくれました。

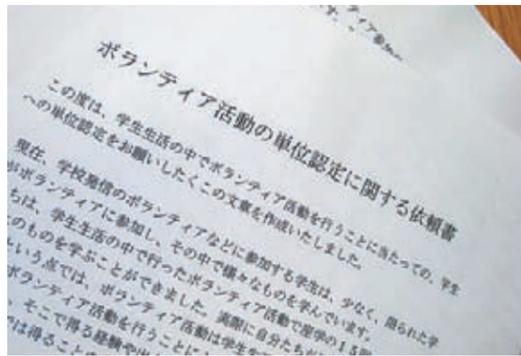
到着早々、布団の日干しの光景を見て「北海道は天気の良い日は布団を干しても良いのだな」と雨の日は学校を休ませる親もいる福島、「ここでは雨にあたっては平気なのですね」と改めて普通ではない日常を強いられている現実を感じた様子に2回目を実施する事ができて本当に良かったと実感しました。

子ども達と関わってくれた9名の学生達は、福島の実状を知らないれば子ども達を真に理解する事はできないと、後に、現地にキャンプを張り生活を体験し、顔見知りになった保護者の家に泊めてもらったりと交流の幅を大きく広げました。

更に自分達が体験した事を一人でも多くの仲間へ伝え、実感してもらいたいと願って大学として積極的に学生に呼びかけてもらう意味でもボランティア活動を単位化して欲しい旨を学長宛に上申書を提出しました。まだ決定を見ていないところですが、是非、彼らが体験した教室の中では絶対に得られない学習を制度化して欲しいと私も願うばかりです。彼らの行動力は無限大の可能性を感じさせてくれました。

音楽のちからで

本学、吹奏楽団が10年ぶり2回目の全国大会への切符を勝ち取り宇都宮で開かれた大会で銀賞を



ボランティア単位化上申書



福島での交流

ただきました。

その際、向かう道すがら福島の子ども達と音楽を通して交流をしたとの申し出がありました。

そこで、プログラムに2回とも参加してくれていた保護者の村田恭一先生が教頭を務める南相馬の大薨小学校での演奏会を開く事ができました。学習発表会の3日前というハードスケジュールの中、

快諾をいただき実現した演奏会。菅原先生編曲による大薨小学校校歌演奏に「自分達の校歌はこんなに素晴らしい曲だったとは」と、驚き感動もどったようです。

大薨小学校の子ども達からは合唱、マーチングの発表と、音楽を通じての交流は大成功でした。

2日後に全国大会を控えている団員に、金賞がもらえるようにと願いのこもった手作りの金賞メダルを首にかけてもらい激励をされました。

これには団員達も涙・涙。音楽のちからで子ども達に元気になって欲しいと願った先では反対



大薨小での演奏会



団員全員に金賞メダルのプレゼント

寄付金のお願い

—今年も福島の子ども達に来てもらいたい—

金額：一口 2,000円 (何口でも可)

目標金額：各年度 100万円

期間：皆様のお心をいただけるまで

同封の振り込み用紙を使用して下さい。

に元気をもらって感動のうちに終わりました。

以上のようにリフレッシュプログラムが取り持つ縁が、一つ一つ絆の広がり花開いていくように関わった全ての人々に感謝いたします。

被災地の方々に、私達は忘れていないですよ。のメッセージを送りたいと強く願う今年も同窓生の皆様にご寄付をいただきたいと思っています。

子ども達が帰るバスを見送った時に「会長さん、来年もよろしくお願いします」と、手を振っている様子に私達同窓生の心意気がこの子達にはしっかり伝わっていると実感しました。福島の子ども達の思いに伝えるためにほんの少しだけ力を貸して下さい。

「ご寄付いただいた方」

1月16日現在

水木絹栄、清原真樹子、江口博子、棚沢かほる、井形弓子、小林恵美子、古谷佳奈子、太田滋子、三谷智恵子、佐藤智子、小野寺牧子、曾根直美、小関恵美、松井啓子、赤間節子、滝沢恵子、右近和子、奥山留以子、草刈玲美、島山優子、大竹尚美、佐藤美希子、横山典子、水間三千代、吉澤恵美子、杉澤朋子、茂 薫、佐藤鶴代美、五嶋美智子、岸本朋子、山本ゆりか、小華和つつ美、岩館礼子、國保いずみ、興相捷子、田上広子、芳賀一江、日光佳奈子、落合松代、佐藤亜希子、波多由美子、山田晶子、加賀谷恵利子、室田憲子、高橋美恵子、笹原和美、北川裕子、佐々木啓子、曳田圭子、塩入由紀子、小林学美、高橋昌子、山崎成美、西川里佳、加藤美智子、前川綾子、駒谷敦子、近江栄子、藤原幸子、水口康代、佐藤史子、野口幸子、渡会美由紀、米山恵子、白髭瑞恵、加藤禮子、六本木博文、戸ノ崎聖子、服部一恵、太田恭子、池田みどり、日角育美、柴田智子、佐藤美紀、小見郁実、牛丸庸子、早勢陽子、村上加代子、坂田朗子、若井祐子、谷本靖子、青木優子、常田美知子、松田啓子、菊田晶子、池田 香、福澤久留美、松尾真理子、吉田美佐子、染谷敦子、鈴木和恵、松浦妙子、齊藤竜太、齊藤幸子、有路礼子、和田和子、助川美千子、福田沙恵子、齊藤徹短期大学部学長、塩田咲江、吉田明代、恵彩会、高木綾子、南ゆみ子

NO.20号発行後の寄付総額は381,000円です。たくさんのご寄付ありがとうございました

敬称略とさせていただきます

第3回リフレッシュプログラム実施決定!

同窓生の皆様には、毎年ご協力を頂きありがとうございます。

今年度も「夏休みリフレッシュプログラム」を続行していく事になりました。

期間は8月12日～19日の間の8日間(予定)です。

本事業については、長く続けていく事が大切で、意義あるものと考えています。その為の運営資金として、皆様からの寄付をお願いしたいと思っております。一人でも多くの同窓生の思いやりの心を福島の子供達に伝えませんか。

是非ご協力の程宜しくお願い致します。

1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1988	1987	1986	1985	1984	1983	1982	1980	1979	1975	1974	1973	1972	1969	1966	1965	1963	
H7		H5216	H44114	H315	H元10	S6262104		S58918				S58918		S551	S5010	S4911	S481020	S4721	S449	S4142	S4010		S384	
就任 第5代学長 浅井幹夫氏		PAL落成式 正面ゲート完成	第4代学長 渡邊進氏就任 PAL竣工	初代理事長 浅井猛氏 AOC開校		浅井学園創立50周年		就任 第3代学長 古瀬卓男氏				創立20周年記念式典		逝去 創立者 浅井淑子先生	浅井学園創立40周年	就任 第2代学長 梶浦善次氏	南部忠平記念スポーツ センター竣工	校歌発表 創立10周年記念式典	皇太子、同妃殿下本学 に行啓	寄宿舎を「雅寮」と命名	陸上競技場グラウンド開き	江別市に校舎移転		北海道女子短期大学開学 寄宿舎設置 初代学長 田所哲太郎氏 自作の制服着用
H77713 781123	H6518 51218	H53	H44 54311		H24 9		S584	S574	S551	S54630	S501			S54630	S501			S449	S414	S404				
原多恵子さんの講演	会費2万円に値上げ 「恵彩会」学内展 「恵彩会」創立30周年記念 懇親会 函館支部会(第1回)	奨学金設立 第1回入学式 幹事会開催 創立30周年記念会 創立30周年記念「同窓 会名簿」発刊	PAL内に同窓会室設置 恵彩会10周年記念講演会 恵彩会10周年記念展覧 会開催		「ソフトテニス部OG 会」発足 養教研1010周年記念 多草1010周年記念展覧 会	同窓会総会開催	同窓会総会開催	同窓会総会開催	「恵彩会」発足、第1回 展覧会 同窓会幹事会開催	同窓会総会開催	同窓会総会開催	同窓会代表者会議開催	「スキー部OG会」発足					同窓会総会開催			同窓会発足			



活躍する同窓生



**ワールドカップ
V3 達成**
志村 亜貴子
(H17年 健康プランニング学科卒)

私は、平成17年に生涯学習システム学部・健康プランニング学科を卒業しました。現在は東京都荒川区にある原中学校で保健体育の講師として勤務しています。大学から始めた女子野球も続けています。その頃から日本代表を目指し、4年生の時に初めて代表に選ばれ、現在も代表として活動しています。第3回ワールドカップで初優勝し、キャプテンとして臨んだ昨年8月に開催された第5回大会では、3連覇を達成することができました。夢だった日本代表、そして世界一を叶えることはできましたが、今後も現役選手として、続けている限りはずっと日本代表を目指し、連覇し続けたいと思っています。



**「人形劇団ひよっこ」の
活動から被災地支援へ**
S45年卒 服飾美術科 木田橋 くに子

私が人形の服を縫うきっかけは、短大卒業後、6年間児童保育指導員をしている中で人形劇をしていた上司との出会いでした。服飾美術科卒という事で引き受けたのですが、人形劇に使う人形にはボディがない、型紙もない、見た目はきれいでも動きが悪い...と思うような服が作れませんでした。しかし、徐々に徐々に人形劇にはまり早草十年。今、私が代表を引きついでいる「人形劇団ひよっこ」は、今年7月に創立57年を迎え年間80回位のステージに立っています。人形劇の楽しさ、生の舞台の素晴らしさ、人形の持つ摩可不思議な世界をこれからも届けていける様に夢を語り夢を見ている私がここ数年頑張っているのは、2年前の大震災で心を傷めた子ども達に人形を送る事...子ども達が喜んでいたと声を励みに約900体ほど被災地に送りました。子ども達に笑顔を、震災を忘れない様に今年も仲間と作り始めました。この活動を始めたら、友人・知人が生地等々を支援してくれたのも嬉しい事です。皆さんも一緒にいかがですか。
※この活動に興味のある方は淑草会事務局に連絡下さい。



北海道女子短期大学初等教育学科1期生の誇り
S46年卒 横溝 裕美子

小学校教員志望の私が受験の年、北海道女子短期大学に初等教育学科が創設され進学した。同級生は皆同じ目的を持っていた。当時の学長は教育大学前学長の田所哲太郎先生、教授陣は教育大、道研、札幌市指導主事のOBを揃え、教員養成に力を入れていることは歴然だった。1期生の私たち30名は教育大に負けじと厳しく指導された。実践重視、技術の獲得、特に美術、体育、音楽は広い知識と専門的技術の習得に力を入れ、夏季は大雪青年の家、冬季は中山峠と、休業中の集中講義が思い起こされる。絵が掛け、スキー・水泳・スケートができ、ピアノが弾ける私たちは、僅か2年で全道各地の小中学校や幼稚園に就職することができた。私は、宗谷管内の宗谷小学校を振り出しに、留萌管内天塩小学校校長として定年退職するまでの40年間を無事勤め上げられたのは、母校、北海道女子短期大学初等教育学科1期生の誇りが胸にあったからだと思う。卒業以来毎年クラス会をしているが、話題は「有難い母校」でのエピソード、同窓生の誇りを胸に益々結束を固めている。50周年、おめでとうございます。



2014年春 北翔大学の新しいかたち

—「建学の精神」の新たな具現化に向けて—
北翔大学学長 相内 眞子

社会は大きな変動の時代を迎えています。北翔大学は、この今日的状況に即応できる有為な人材を養成するため、現行の教育組織を改編し、これまでの伝統を受け継ぎながら、「新しいかたち」へ姿を変えることといたしました。

2014年の入学生から、学部学科は「生涯スポーツ学部」と「教育文化学部」の2学部5学科編成となり、「生涯スポーツ学部」には「スポーツ教育学科」「健康福祉学科」を、「教育文化学部」には「教育学科」「芸術学科」「心理カウンセリング学科」を置き、5つの教育フレームを導入した新たなカリキュラム展開により、人材養成に主眼を置いた一層の社会貢献に努めるものです。(右図参照)

再編にあたっては、在学生の卒業後に名称が継承されない学部学科もありますが、その教育内容はさらに輝きを増し、新たな2学部5学科に受け継がれてまいります。福祉分野と健康・スポーツ分野の統合的展開を通して、「健康長寿社会」の実現という、超高齢社会の要請に応える福祉職を養成するほか、競技スポーツコースを新設。さらに教員養成課程を統合再編し保育士養成を加えました。芸術分野や心理領域においては、専門性のさらなる明確化を図ります。

5つの教育フレームとは、「入学前教育」と「基礎・教養科目」「専門科目」「発展科目」そして1年次から4年次まで一貫した「就業力養成科目」です。これらは、「職業的スキルと幅広い教養を身につけた自立できる社会人の育成」を謳う建学の精神の具現化に他なりません。

伝統を新たな未来につなぐ2014年、春。同窓会の皆様には、北翔大学の「新しいかたち」になにとぞご理解をいただき、これまで同様、温かく力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、**同窓生子女の皆様への入学金免除の制度は継続してまいります**ので、進学先の選択肢として本学を加えていただきますよう重ねて申し上げます。その際には、入学後に学生生活支援オフィスにて返還手続をお忘れなくお取りください。

OPEN CAMPUS
オープンキャンパス
2013-2014
① 7/20-7/21 (土・日)
② 9/15 (日)
③ 2014/3/8 (土)

2014年度 入学定員：440人 収容定員：1,880人

【生涯スポーツ学部】	
スポーツ教育学科 (160人)	
スポーツ教育コース	教員免許状(中高一種「保健体育」・特別支援一種) 健康運動指導士(受)・健康運動実践指導者(受)
スポーツトレーナーコース	レクリエーションコーディネーター・インストラクター(受) アスレティックトレーナー(受)
競技スポーツコース	キャンプディレクター・インストラクター(受) 障害者スポーツ指導員 エアロビック指導員(受) 社会教育主事(任)
健康福祉学科 (60人)	
	介護福祉士(受) 社会福祉士(受) 健康運動実践指導者(受) レクリエーションコーディネーター・インストラクター(受) 障害者スポーツ指導員 エアロビック指導員(受) 社会教育主事(任) *他学科履修により、教員免許状(中高一種「保健体育」) 健康運動指導士(受)の取得が可能
【教育文化学部】	
教育学科 (120人)	
初等教育コース	社会教育主事(任) …全コース
幼児教育コース	教員免許状(幼一種・小一種・特別支援一種)
養護教諭コース	保育士 教員免許状(幼一種・特別支援一種) 教員免許状(養護教諭一種)
音楽コース	教員免許状(中高一種「音楽」・特別支援一種)
芸術学科 (50人)	
	教員免許状(中高一種「美術」) 2級建築士(受) 社会教育主事(任) 木造建築士(受) 学芸員(任) インテリアプランナー(受)
心理カウンセリング学科 (50人)	
	認定心理士 福祉心理士 精神保健福祉士(受) 産業カウンセラー(受) 社会教育主事(任) 児童福祉司(任)

長年活動を続けているOB会の多年草、恵彩会を中心に学生を含めた合同展を企画します。合わせて、作家活動を続けている全てのジャンルの作品を募集します。期間は、H26年9月ポルトにて(全て予定)応募の詳細については、同窓会HPにて確認して下さい。

創立50周年記念合同作品展を開催します。

2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	
	H23.3.11	H22			H19	H18	H17	H16		H14	H13	H12.4	H11.6.19	H10	H9.4.7	H8	
	東日本大震災	第7代学長 相内真子氏 就任			北翔大学に校名変更	第6代学長 遠藤知恵氏 就任	浅井学園大学 校名変更	スポル開設	8号棟完成		ポルト開設	北海道浅井学園大学に名称変更(男女共学) 新学園歌、イメージソング	吹奏楽部定期演奏会開始	大学特待生制度新設	北海道女子大学開学式 北海道女子大学短期大 学部名称変更		
H24	H23	H22	H21.9.4	H20	H19	H18	H17.8.6	H16.6.3	H15.4	H14.7.6	H13	H12.2.11	H11.6.19	H10.7.11	H9.3.25	H8.6.22	
野球部発足10周年	銅像前の花壇作り	開学50周年記念事業の一環として「バルグランド」の造成	夏休みフレッシュアッププログラム	災害復興ボランティアの実施	夏休みフレッシュアッププログラム	夏休みフレッシュアッププログラム	夏休みフレッシュアッププログラム	夏休みフレッシュアッププログラム	夏休みフレッシュアッププログラム								
定期総会(約160名) 恵安亭遊佐ひとり芝居 帯広支部会	名称「淑会」に決定 旭川支部発足 1回 ティー	旭川支部発足 2回目 PAL前時計塔寄贈 東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	東北ブロック仙台支部会	

女子アイスホッケー ソチオリンピック出場決定

私達もソチを目指します!!



平山友梨香
(2011年短期大学部卒) ジャンプ



茂野 美咲
(2009年健康プランニング学科卒) ジャンプ



細田将太郎
(スポーツ教育学科4年) ジャンプ



田中温子
(2012年人間総合学科卒) ジャンプ
カナダナショナルチーム



村田愛里咲
(2013年学習コーチング学科卒) モーグル



大和田 真
(スポーツ教育学科4年) スケート



宮武 祥子
(2011年大学院修了) スノーボードアルペン

坂上 智子 (2004 短期大学部卒)
2014 ソチ五輪
女子アイスホッケー日本代表候補
自分のアピールポイントはシュートなので、決断力を高め、点数を決めたいです。日本はオリンピックで勝利した事がないので、チームが1つになって、1試合1試合しっかり勝利して、メダルを目指したいと思っています。ソチオリンピックでは、みんなで楽しくアイスホッケーをしてきます!!



久保 英恵 (2003 短期大学部卒)
2014 ソチ五輪
女子アイスホッケー日本代表候補
ソチオリンピックに向け、さらなるレベルアップを目指し、またみなさまの前で良いパフォーマンスが出来るよう頑張りたいと思います。また、アイスホッケー界の発展の為に結果を残し、環境作りにも貢献していきたいと思ひます。

藤本もえこ
(スポーツ教育学科3年)
2014 ソチ五輪
女子アイスホッケー日本代表候補

堀 珠花
(スポーツ教育学科4年)
2014 ソチ五輪
女子アイスホッケー日本代表候補



北翔大学で
報告会



アリーナ壁面懸垂幕
掲揚

快挙 FIG 世界ランキング3位、エアロビック男子シングル部門 是枝亮君 (スポーツ教育学科2年)

FIG (国際体操連盟) 主催エアロビックワールドカップ第2戦東京大会4位、第3戦ポルトガルのアゾレス大会3位、第4戦ブルガリア・ボロベツ大会2位、2大会連続メダル獲得という快挙を果しました。今後の活躍を大いに期待しています。



女性初 女子ジャンプナショナルチームのコーチに就任 山田いずみさん (H11年保健体育学科卒)

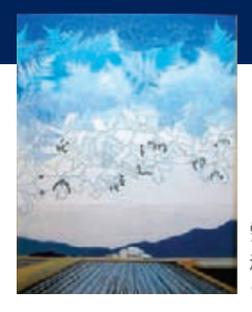
来年のソチオリンピックに向け、スキージャンプ女子の高梨沙羅選手などの指導をする、女子ナショナルチームのコーチに、女子選手の草分け的存在である本学卒業生、山田いずみさんが就任しました。昨年、本学コーチとして、平山友梨香選手の活躍に大いに貢献しました。ジャンプのナショナルチームコーチに女性が起用されるのは初めてのこと。同窓生全員で女子ジャンプを応援しましょう。



第27回 多年草展

8/22(木)~27(火)

道新ぎやらりーにて開催
是非ご覧下さい。
雪舞 (作品名) 牛木 志津子 S51 工芸美術科卒
淑会会の入口横に展示しています。
どうぞ、見学にいらして下さい。



第7回 通園バック製作会

今回は H26年2月末予定

今年も第2大麻幼稚園入園の保護者を対象にした通園バック、絵本バックの製作会が終了しました。参加されたお母さん達の多くは洋裁経験がほとんどない事を不安に思っている様子でしたが本大学の富田玲子准教授と大信田信子准教授の指導により仕上げることができました。完成したバックを我が子に見せた時のお母さんの満足した顔や子ども達の喜んだ顔がとても印象的でした。



こんな作品ができたよ~

学生表彰受賞者

- 細田将太郎** スポーツ教育学科 スキージャンプ競技
- 大和田 真** スポーツ教育学科 スピードスケート競技
- 後藤麻利亜** ライフデザイン学科 フィギュアスケート競技
- 是枝 亮** スポーツ教育学科 エアロビック競技
- 平加有梨奈** スポーツ教育学科 陸上競技走幅跳
- 今 あかり** スポーツ教育学科 陸上競技円盤投
- 堀 珠花** スポーツ教育学科 女子アイスホッケー日本代表
- 藤本もえこ** スポーツ教育学科 女子アイスホッケー日本代表



淑会会よりお米券を贈呈



前方左端 堀 珠花、前方右端 藤本もえこ
後方左から 細田将太郎、是枝 亮、大和田 真、平加有梨奈、今 あかり、後藤麻利亜

●●●平成25年度代議員会報告●●●

3月30日(土)開催

〈審議内容〉

- 24年度事業報告及び会計決算報告
- 25年度事業計画及び予算報告
- 奨学金規約改正
- その他

平成24年度決算書&平成25年度予算書

一般会計 (単位:円)			
項目	24年度決算	25年度予算	
収入			
会費収入	23,128,240	24,000,000	
雑収入	250,000	0	
利息	2,196	3,000	
前期繰越収支差額	12,145,526	8,490,090	
収入合計(A)	35,525,962	32,493,090	
支出			
I 大学支援			
大学	3,256,713	5,000,000	
学生	3,980,700	5,000,000	
II 事業			
OB会・OB活動	711,972	1,200,000	
研修	490,792	600,000	
広報	2,882,908	3,200,000	
入会式	759,790	1,000,000	
支部	1,555,394	2,000,000	
III 管理			
会議	300,480	400,000	
慶弔	181,750	500,000	
印刷	162,102	300,000	
通信	160,407	300,000	
運営・活動	3,546,015	3,700,000	
消耗・雑費	140,381	200,000	
備品	34,738	200,000	
IV 予備			
農災助金	1,500,000	1,750,000	
V 創立50周年記念事業			
創立50周年記念事業	7,371,730	0	
支出合計(B)	27,035,872	26,350,000	
次年度繰越収支差額(A-B)	8,490,090	6,143,090	
特別会計			
1. 積立金 (単位:円)			
項目	24年度決算	25年度予算	
利息	22,607	30,000	
前年度繰越金	60,761,461	60,811,461	
収入合計(A)	60,784,068	60,841,461	
支出	なし		

2. 農災助金			
項目	24年度決算	25年度予算	
収入			
中央共同募金	790,000	250,000	
寄付金	359,000	300,000	
雑収入	86,000		
一般会計より	1,500,000	1,500,000	
利息	132		
前年度繰越金	352,751	978,063	
収入合計(A)	3,087,883	3,028,063	
支出			
夏休みフレッシュプログラム	1,342,335	幼児・生徒18名 保護者7名	
学生ボランティア	375,000	17名	
吹奏楽団ボランティア	342,472	大妻小学校で 演奏会45名 分福泊代	
絵本プレゼント	50,013	大妻小学校へ 71冊	
支出合計(B)	2,109,820		
次年度繰越収支差額(A-B)	978,063		

3. 奨学金			
項目	24年度予算	25年度予算	
収入			
貸与者返済	3,284,900	2,885,300	
雑収入	1,000	1,000	
一般会計より	0	0	
前年度繰越金	19,550,953	20,605,801	
収入合計(A)	22,836,853	23,492,101	
支出			
奨学金貸与	3,400,000	3,520,000	
雑費	1,920	1,920	
支出合計(B)	3,401,920	3,521,920	
次年度繰越収支差額(A-B)	19,434,933	19,970,181	

4. スポーツ・文化振興会			
項目	24年度決算	25年度予算	
収入			
寄付金	3,000		
利息	1,694	2,000	
前年度繰越収支差額	15,311,202	6,999,696	
収入合計(A)	15,315,896	7,001,696	
支出			
外部コーチ	1,900,000		
OB活動援助	1,300,000		
バドミントン造成	5,000,000		
その他	116,200		
支出合計(B)	8,316,200		
次年度繰越収支差額(A-B)	6,999,696		



北見支部
7月22日(日)
バラの香りのポティークリーム作りをしました。
ポティークリーム作りと食会(遊牧民族にて)



釧路支部
9月1日(土)
最高のシチュエーションで見ることができました。
～どんばくの花火を観よう!～
ラビスタ釧路川にて



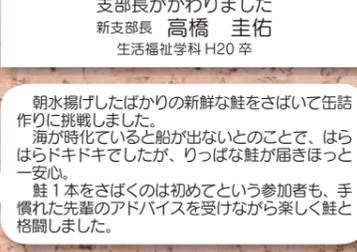
根室支部
10月13日(土)
鮭の缶詰作りと食会



関東支部
10月6日(土)
折り紙の壁掛け作りと食会(レストランにて)
支部長がかわりました
新支部長 高橋 圭佑
生活福祉学科 H20 卒



みちのく南支部
10月27日(土)
ホテルメトロポリタンにて食会



朝水揚げしたばかりの新鮮な鮭をさばいて缶詰作り挑戦しました。
海が時化していると船が出ないとのことで、はらはらドキドキでしたが、りっぱな鮭が届けほっと一安心。
鮭1本をさばるのは初めてという参加者も、手慣れた先輩のアドバイスを受けながら楽しく鮭と格闘しました。

平成25年度支部交流会準備予定

9月28日(土) 根室支部 ガラス工芸～フュージングで作品作り (細かくカットしたフュージングガラスを組み合わせて高温で焼きつけるガラス工芸の一種)	10月5日(土) 関東支部 屋形船で東京湾めぐり 案内発送 9月中
10月26日(土) みちのく南支部 アロマテラピーと絵手紙で癒しのひと時を	11月2日(土) みちのく北支部 食会及び「美に関する講習会」

函館・旭川・釧路・帯広・稚内・関西支部の開催予定はホームページでお知らせします。
～皆様のご参加をお待ちしております～

PAL グラウンド こけら落とし

創立50周年記念事業の一環として昨年造成したサブグラウンド「PALグラウンド」が完成7月14日にこけら落としが行われました。この日は、車イス野球の親善試合が行われ完成を祝いました。



北翔大学 免許状更新講習について

本年度も8月6日～10日に実施されます。毎年、募集開始と同時に申し込みが殺到し、定員となる事が多い様です。選考基準については、修了確認期限が今年度の方が第一優先で選考されます。

養護教諭については、現職教員より、選択科目を単独で、日程を別にして開催できないかと申し入れがあり、現在、大学側と交渉中です。

日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI 保健室の先生(養護教諭)になっちゃおう

日時 7月20日(土)・7月21日(日) 北翔大学オープンキャンパスと同時開催
1日だけでも2日も参加してもOKです。昼食は学食で無料で食べられます。
小学生・中学生10:00～受付 10:30～11:30、
中学生・高校生12:30～受付 13:00～14:40

当日の主な内容

- 科学研究費と本事業の説明
- 研究成果の紹介
- 実習補助学生のデモンストレーション
- 参加者のみなさんの「養護教諭体験」(必ず実習補助学生がつくので、安心して体験できます)
小学生: からだのしくみのパズル
小・中学生: バイタル測定
中・高校生: スペシャルカード作成
- 未来博士号授与

定員 40名

企画代表 人間福祉学部 福祉心理学科 教授 今野 洋子(いまの ようこ)

申し込み〆切 7月19日(金)まで **参加費** 無料

お問合せお申込先 北翔大学企画部教育研究支援課
千広 敦子(ちひろ あつこ)
TEL: 011-387-4158 FAX: 011-387-1542 E-mail: chihiro@hokusho-u.ac.jp
修了証書を準備しますので、事前にお申込みください。

5年連続で採択されました!
保護者の方も一緒にどうぞ
未来博士号授与者は、現在1万人を超えました!

Quoカード抽選会

同窓会名簿アンケートに答えて頂いた324名の中から50名が決定しました。当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。



(当選50名)

採用

●教員採用者(4/1現在) 123名
正規採用者 60名
小学校26名/中学校13名
高校7名/特別支援学校14名
期限付き採用者 63名
小学校23名/中学校16名
高校11名/特別支援学校13名

合格

●第25回社会福祉士国家試験 14名
(H24年度卒 6名/過年度卒 8名)
●第15回精神保健福祉士 3名
(H24年度卒 1名/過年度卒 2名)

レーシックも、老眼・白内障手術も。視力回復は当院へご相談ください

あらゆる世代の「見える生活」をサポートいたします。

通常手術料金より **最大5万円引き!**

本誌ご提示で「淑華会特典」をご利用いただけます。

※詳細はお問い合わせください。 ※内容は2013年5月20日現在のものです。予告なく変更になる場合があります。
※2014年6月30日までに手術を受けられる方が対象です。

医療法人社団 神歩会
神戸神奈川アイクリニック
北海道・札幌/東京・新宿/愛知・名古屋/大阪・梅田/神戸・三宮/北九州・小倉/福岡・天神

お客様相談センター **0120-049-035** 電話受付時間 平日 9:30～20:00 (年末年始を除く) 土日祝 9:30～19:00
ホームページ <http://www.kobe-kanagawa.jp>

合縁奇縁

創立50周年を迎え、母校の歴史を振り返ると、半世紀の歴史を築いてきたことに驚かされます。この間に、社会の急激な変化の中で、我々が歩んできた道は、決して平坦なものではありません。しかし、先輩たちが築き上げた礎の上に、我々が今日まで歩んでこられたのは、皆、先輩たちの努力と情熱のおかげです。

この50年、私たちは多くの困難と試練を経験してきました。しかし、困難は乗り越え、試練は成長の機会となりました。これからも、先輩たちの志を継ぎ、未来を拓いていく責任を、我々がしっかりと果たしてまいります。

この50周年を、単なる記念行事としてではなく、我々の歴史を振り返り、未来を展望する機会として、心から大切にしたいと思います。皆様のご参加を心からお待ちしております。